

# BSSC 水球部におけるチームワーク向上のための取り組みについて

浅田 倫佳 (競技スポーツ学科 コーチングコース)  
指導教員 北村 哲

キーワード: チームワーク, モチベーション, 成功事例

## 1. 緒言

チームワークの本質はメンバーの強みを活かして、弱みを中和することにある。

BSSC 水球部の 2013 年 4 月の状況として、プレイが噛み合わず、お互いを理解しようとしなないなどの問題が挙げられたため、チームワークが良いとは感じられなかった。チーム内でより多くのコミュニケーションをとり、お互いの理解を促す取り組みを行った結果、競技成績が向上した。

本研究では、BSSC 水球部におけるチームワーク向上のための取り組みについて、その詳細や特徴を明らかにすることを目的とする。指導者にとって、多くの成功事例を知ることは、指導のための良い知見を蓄えることに繋がるため有益である。

## 2. 研究方法

チームワーク向上のための取り組みについて、その詳細や特徴を明らかにするため、著者の日記分析を行った。また、チームワークの変化を客観的に評価するために、山口(2009)を参考に作成したチームワーク測定尺度を用いて pre, post1, post2 の計 3 回調査した。チームワーク測定用紙で算出した得点が特に高かった 3 名に対してインタビュー調査を行った。得られた各結果を総合的に検討し、チームワーク向上のための取り組みの特徴や効果について検討した。また日記分析およびインタビュー分析は、設定したキーワードおよび観点について、コーディングし抽出した。

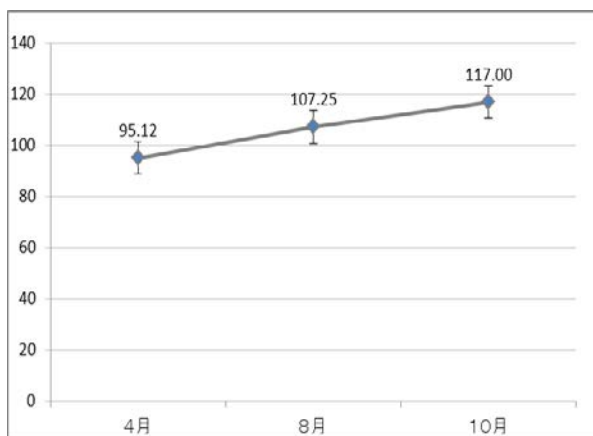


図1 チームワーク得点の変化

## 3. 結果と考察

チームワーク調査を行った結果、チーム得点の変化として、pre: 95.12, post1: 107.25, post3: 117.00 となり、1 回目と 3 回目の間に有意な差がみられた(図 1)。要因として、戦術、目標を含めたミーティングを 46 回と、とても多く行ったことで、メンバー間での言葉の捉え方が変化し、練習に対してのメンバー全員のやる気が上がり、チームでの自分の存在意義を理解するなど、モチベーションの向上に繋がった。モチベーションの向上はチームワークに大きな影響を与えたと考えられる(図 2)。

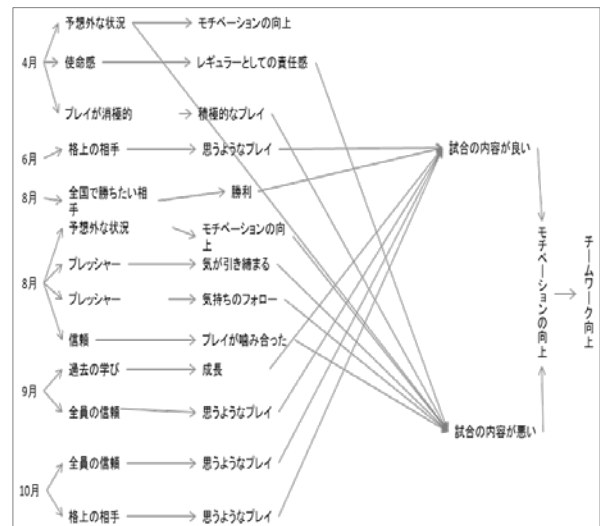


図2 シーズン中におけるチームワーク向上要因の関係性

## 4. まとめ

チームワークを向上させるためには、ただ話し合えばいいというわけではなく、お互いの本質や思いを理解することが重要だと考える。メンバー間で、多くのコミュニケーションをとることによって、信頼関係が生まれ、プレイが噛み合うようになる。それにより 1 人 1 人のモチベーションが向上し、チームワークの向上に繋がったと考えられる。

## 4. 引用・参考文献

山口裕幸(2009)看護師チームのチームワーク測定尺度の作成. 社会心理学研究 第 24 巻第 3 号, 219 - 232